

和みの郷 令和5年度事業計画・方針

【年度計画要旨】

昨年度、施設内で新型コロナウイルスのクラスターが複数発生したことにより、地域に対し必要な介護サービスを安定して届けることができなくなってしまいました。このコロナ対応の経験と反省を活かし、感染防止対策の実践力を上げまた防災力を強化し、危機管理を適切に行いサービスが途切れることなく提供できるように力を注ぎます。

超高齢社会にあり、利用者及び家族、地域のニーズが大きく変化していることを受け止め、法人の理念のもと、我々の使命が福祉サービスを提供することと地域貢献であると認識し、個人のスキル向上と多職種の連携を強化し、より良いサービスを提供できるようにしていきます。

各サービスの事業運営にあたっては、地域社会のニーズを捉え直し中長期の視点をもって取り組むとともに、サービス提供においては、現場の状況や課題を分析し先を見据えた業務の効率化を図りながら行います。

慢性的に生じている人員の不足を解消するため、介護人材を積極的に採用していきながら、外国人の雇用を行ないます。外国人の雇用にあたっては、法人内高齢者施設と連携を図り、受け入れの環境整備をはじめ、現場での育成指導まで施設をあげて迎え入れて、共に育つ「共育」を実践していきます。また、職員の働きがいやワークライフバランスに取り組み、職員個々のキャリア形成と人材の育成を中長期的な視点で見据えて、資格取得の勧奨やリーダーの育成を進めていきます。

【重点目標】

(1) コロナ感染対策の実践力を強化する

新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、感染者の発生時の初期段階からクラスター発生時まで、職種間及び部署間で連携を図りながら速やかに収束できるようにしていきます。

(2) 外国人雇用を軌道にのせる

令和5年9月に外国人の雇用を始めるにあたり、文化や言語、教育環境の違いを受け止め、安心して働ける環境づくりと個々人に合わせた育成・指導を行い、和みの郷の職員として活躍し来日して良かったと思われるようにしていきます。

(3) 地域のニーズ変化に対応した事業運営を目指す

従来の福祉施設に求められていた要望に対応しながら、家族構成や家族の就業形態の変化や高齢者のサービス利用に対する意識の変化を把握・検討し、利用者や地域のニーズにマッチした事業運営を行います。